

チケット購入方法

① 前売券は喜楽館窓口で購入できます。

営業時間は11:00～19:00です（年中無休）

② チケットぴあでも購入できます。

① お近くのセブンイレブンで購入する場合

1. 「マルチコピー機」の場所を尋ねてください。
2. タッチパネルから「チケットぴあ」を選んでタッチ。
3. Pコードに『597-410』を入力します。
4. ご希望の公演日、公演時間を選びます。
5. あとは指示に従って必要事項を入力、レジで支払い発券！

② ホームページで購入する場合

ぴあ 喜楽館

③ 電話で予約する場合

☎ 0570-02-9999

※ガイダンスにしたがって予約できます。



団体予約も受け付けています。

※団体割引は10名以上

☎ 078-335-7088

※喜楽館周辺にはお食事できるお店や研修に使える会場もあります。お気軽にご相談ください。

貸館としてご利用いただけます。

夜間（17時～22時）は落語のほか浪曲、講談、漫才、踊り、講演会、各種音楽のコンサートなど幅広くご利用頂けます。

神戸新開地・喜楽館 誕生秘話『一通の手紙がつないだ縁』

2014年夏、当時の上方落語協会会長の「神戸あたりにも上方落語の定席を」との発言内容の新聞記事を見た商店街の若手が1通の手紙を送ったことが、神戸新開地・喜楽館実現の最初の一步です。手紙にはかつて「東の浅草、西の新開地」と謳われた新開地での寄席の復活を切望する想いがつづられていました。

ほどなく上方落語協会のみなさまと新開地まちづくりNPOとの間で検討のための会合が始まりました。しかし、様々な課題が見え始め、一度は断念を余儀なくされましたが、双方の熱意に兵庫県、神戸市が協力の意向を示され、4者が共に神戸のまちの活性化と伝統芸能の振興を願い協定を締結し、県と市の支援と国の補助制度を活用しながら、市民にも寄付を呼びかけ、2017年8月に着工しました。

演芸場の名称は、気軽に楽しめて神戸らしい「洋」のイメージと、神戸市民に愛された聚楽館の「館」の文字から「神戸新開地・喜楽館」を選び命名しました。昼は上方落語の定席（毎日公演）、夜は上方落語はもちろん、東西落語、講談、浪曲などの演芸のほか音楽、ダンスなど、幅広く楽しめる演芸場として、7月11日（水）開館いたします。神戸市の一名所として、皆様から気軽に喜んで楽しんでいただきたいと関係者一同思っております。

喜楽館は交通の便利な場所にあります。

- ◆私鉄各線『新開地駅』より徒歩2分 ◆JR『神戸駅』より徒歩15分
- ◆神戸市営地下鉄『湊川公園駅』より徒歩5分 ◆神戸電鉄『湊川駅』より徒歩5分



寄付金ご協力をお願い

喜楽館建設費のうち補助金対象外となるシンボルスゲートや各種道具、設計など必要な経費等の資金が不足しています。寄付いただいた方は「一口館長」として、喜楽館内芳名板に氏名・会社名等を記載させていただきます。1口1万円を基本とし、5万円、10万円単位で金額に応じた芳名札を記載いたします。

神戸新開地・喜楽館

神戸市兵庫区新開地2丁目4-13

TEL 078-335-7088

<https://kobe-kirakukan.jp/>



7/11 水 上方落語の定席 一堂々オープン!

神戸新開地

喜楽館

乙けろ落し特別公演

チケット好評発売中!

桂文枝

桂福團治

桂文珍

笑福亭鶴瓶

桂春團治

超豪華! 200名を超える落語家が日替わり総出演!

前売券はお早めに!

喜楽館



2018年 昼席 7-8月 こけら落とし公演



14:00 開演 (13:30 開場) ※全席指定
前売券 2,300円 当日券 2,800円
65歳以上 2,300円、障がい者・大学生・高校生 2,000円
小・中学生 1,500円 (すべて前売り・当日とも) ※各種割引には証明書の提示が必要です。

200名以上の落語家が日替わりで総出演！前売券好評発売中！

桂 鞠輔 7/16 (月・祝) 桂 阿か枝 笑福亭 仁昇 露の 団四郎 (百面相) 笑福亭 生喬 一中入り 森乃 福郎 リビート山中 (音曲漫談) 笑福亭 松枝	笑福亭 飛梅 17 (火) 笑福亭 喬若 桂 わかば 桂 三金 (パレージョー) 桂 三風 一中入り 桂 枝曾丸 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 桂 春若	桂 治門 18 (水) 桂 福丸 桂 雀五郎 桂 三象 (踊り) 桂 米二 一中入り 桂 三ノ助 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 桂 文太	笑福亭 呂好 19 (木) 桂 吉の丞 笑福亭 恭瓶 桂 朝太郎 (マジカル落語) 桂 かい枝 一中入り 桂 福楽 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 桂 文喬	桂 そうば 20 (金) 笑福亭 由瓶 桂 三象 桂 ぼんぼ娘 (メイド漫談) 林家 小染 一中入り 桂 米輔 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 桂 文也	桂 米輝 21 (土) 桂 ちようば 笑福亭 遊喬 桂 文福 (歌謡笑) 桂 文華 一中入り 桂 楽珍 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 桂 文之助
桂 三語 22 (日) 桂 まめだ 露の 吉次 桂 米平 (立体紙芝居) 笑福亭 枝鶴 一中入り 桂 一蝶 れ・みぜらぶるず (音曲漫才) 笑福亭 鶴笑	露の 眞 23 (月) 桂 三幸 桂 きん太郎 笑福亭 智之介 (マジック) 桂 春蝶 一中入り 笑福亭 仁扇 来世楽 (ラセラ) (三味線) 桂 枝女太	笑福亭 生寿 24 (火) 林家 卯三郎 笑福亭 右喬 林家 笑丸 (演芸落語) 笑福亭 仁嬌 一中入り 笑福亭 岐代松 来世楽 (ラセラ) (三味線) 桂 雀三郎	桂 二葉 25 (水) 笑福亭 風喬 桂 珍念 林家 笑丸 (ものまね) 林家 菊丸 一中入り 立花家 千橋 来世楽 (ラセラ) (三味線) 桂 小春園治	露の 紫 26 (木) 林家 染左 笑福亭 瓶吾 桂 勢朝 (南京玉すだれ) 笑福亭 学光 一中入り 桂 出丸 来世楽 (ラセラ) (三味線) 桂 小枝	月亭 天使 27 (金) 林家 染太 笑福亭 達瓶 露の 吉次 (がまの油) 桂 九雀 一中入り 桂 米裕 来世楽 (ラセラ) (三味線) 桂 福園治
桂 小鯛 28 (土) 笑福亭 松五 桂 雀喜 林家 染雀 桂 あやめ 一中入り 笑福亭 竹林 来世楽 (ラセラ) (三味線) 笑福亭 鶴瓶	林家 染吉 29 (日) 林家 市楼 笑福亭 喬楽 笑福亭 鶴笑 (紙切り) 桂 花園治 一中入り 桂 米平 来世楽 (ラセラ) (三味線) 笑福亭 福笑	桂 紋四郎 30 (月) 笑福亭 鉄瓶 桂 米紫 桂 ぼんぼ娘 (メイド漫談) 桂 文三 一中入り 林家 うさぎ 亜空垂 SHIN (マジック) 桂 梅園治	月亭 八斗 31 (火) 笑福亭 呂竹 桂 こけ枝 内海 英華 (女道楽) 林家 花丸 一中入り 明石家 のんき 亜空垂 SHIN (マジック) 露の 新治	桂 寅之輔 8/1 (水) 桂 三弥 桂 七福 林家 染雀 (後ろ面) 桂 春雨 一中入り 笑福亭 円笑 亜空垂 SHIN (マジック) 桂 吉弥	林家 染八 2 (木) 林家 笑丸 笑福亭 忍笑 笑福亭 松喬 (獅子舞) 桂 勢朝 一中入り 笑福亭 純瓶 亜空垂 SHIN (マジック) 桂 坊枝
露の 団姫 3 (金) 桂 雀太 林家 竹丸 喜味家 たまご (三味線放談) 笑福亭 松喬 一中入り 露の 団六 亜空垂 SHIN (マジック) 月亭 八方	笑福亭 嬌太 4 (土) 桂 佐ん吉 桂 ひろば 桂 ひろば・桂 佐ん吉 (戸板返し) 笑福亭 仁福 一中入り 桂 文昇 亜空垂 SHIN (マジック) 露の 都	桂 弥太郎 5 (日) 笑福亭 たま 林家 ぞめすけ 笑福亭 学光 (腹話術) 桂 米左 一中入り 笑福亭 伯枝 亜空垂 SHIN (マジック) 笑福亭 呂鶴	笑福亭 喬介 6 (月) 森乃 石松 桂 あさ吉 内海 英華 (女道楽) 笑福亭 銀瓶 一中入り 桂 三馬枝 揚野パンリ (お笑い曲芸) 桂 春園治	桂 小梅 7 (火) 桂 しん吉 桂 吉之輔 桂 朝太郎 (マジカル落語) 月亭 遊方 一中入り 桂 三歩 揚野パンリ (お笑い曲芸) 桂 米園治	林家 愛染 8 (水) 桂 吉坊 桂 文鹿 林家 染二、桂 三扇、 林家 愛染 (松づくし) 桂 枝三郎 一中入り 桂 三扇 揚野パンリ (お笑い曲芸) 林家 染二
桂 あおば 9 (木) 桂 咲之輔 桂 鯛蔵 桂 枝曾丸 (和歌山落語) 笑福亭 鶴二 一中入り 笑福亭 扇平 揚野パンリ (お笑い曲芸) 笑福亭 鶴志	桂 団治郎 10 (金) 桂 二乗 桂 福矢 旭堂 小南陵 (講談) 月亭 文都 一中入り 月亭 八光 揚野パンリ (お笑い曲芸) 桂 塩鯛	桂 華紋 11 (土) 桂 歌之助 桂 三金 春野恵子・ 曲師一風亭初月 (浪曲) 桂 団朝 一中入り 笑福亭 見瓶 揚野パンリ (お笑い曲芸) 桂 きん枝	桂 三四郎 12 (日) 笑福亭 智之介 桂 よね吉 笑福亭 純瓶 (こわい斬) 桂 文福 一中入り 露の 団四郎 揚野パンリ (お笑い曲芸) 笑福亭 仁智	8月13日より いよいよ、落語 定席公演が始ま ります。 1週間ごとに 出演者が替わり、 毎日落語や色物 をお楽しみ頂け ます。	月亭 八斗 13 (月) 桂 しん吉 笑福亭 生喬 内海 英華 (女道楽) 林家 染二 一中入り 桂 米紫 松旭齋 天蝶 (手品) 桂 小春園治

※9月以降の出演者は公式ホームページでご覧いただけます。都合により出演者や番組の一部が変更になる場合がございます。

2018年 夜席公演 7月 スケジュール

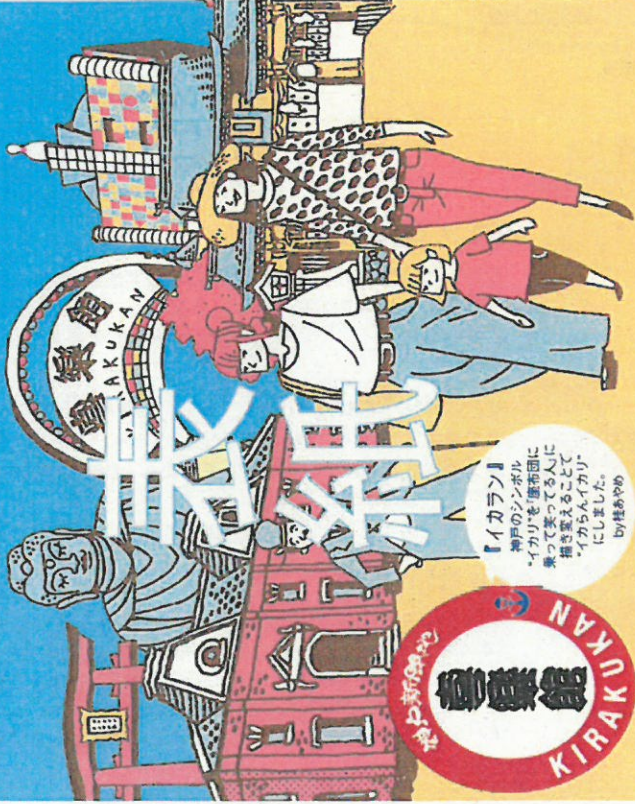
落語会 漫才 コンサート 伝統芸能 その他

兵庫県政150周年記念 ひょうご県民寄席特別公演 桂あやめの会 12 (木) 桂 福丸 旭堂南海 / 宮村群時 桂あやめ (新作) 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 2,100円 / 当日 2,500円	第1回 神戸の落語家 ベッコの会 13 (金) 笑福亭 智之介、桂三ノ助、 姉妹キングス (桂あやめ・林家染雀) ゲスト / 桂文珍 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	笑福亭 鶴瓶 14 (土) 笑福亭 鶴瓶 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	チンガリックステーキ アカペラライブ 15 (日) チキン ガーリックステーキ 総合プロデュース 草葉達也 開演 19:00 / 開場 18:30 前売 3,000円 / 当日 3,500円
花詩歌タカラヅカ in KOBE 16 (月・祝) 桂あやめ、桂春雨、笑福亭 智之介、 林家 染雀、笑福亭 松五、笑福亭 生喬、 やや香、月亭 天使、林家 染八、 沢村さくら、めくまりこ、 演奏 / リビート山中、フランク・ 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	落語協会 江戸落語 喜楽館寄席 17 (火) 柳亭市馬、柳家喬太郎、 柳家さん若、柳家小菊、 柳亭市坊 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	桂米朝一門会 18 (水) 桂文之助、桂米二、 桂米紫、桂ひろば、 桂弥太郎 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	神戸で大逆転将棋 史上初！ 付度将棋、他 19 (木) 糸谷哲郎 八段、里見香奈 女流五 段、石本さくら 女流初段、吉本 新喜劇ミスター X、シューティ グスター、神吉宏充 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円
第214回 兵庫区民寄席 20 (金) 桂きん枝、露の新治、 笑福亭 鶴二、桂紅雀、 林家 染太 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 2,000円 / 当日 2,400円 ※全席自由席	月亭 八方 21 (土) 誘笑会 月亭 八方 ※シークレットゲストあり 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	落語芸術協会二ツ目競演 成金 in 喜楽館 22 (日) 春風亭昇也 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	(株) Division A to Z ブラボーしろうの 昭和歌謡ナイト vol.1 23 (月) ブラボーしろう ニノ宮 あかり 桂 三幸 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円
2008年 花の同期会 24 (火) 笑福亭 呂好、月亭 方正、 月亭 八斗、桂きん枝、 露の紫、笑福亭 飛梅 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	三遊亭 円楽・兼好 二人会 25 (水) 三遊亭 円楽 三遊亭 兼好 桂 園治郎 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	喜楽館 こけら落し公演 浪曲の会 26 (木) 京山 幸枝若、天中軒 雲月 貞山 一郎、春野 富美代 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	関西演芸協会 お笑いライブ in 喜楽館 27 (金) 桂 福園治、平和ラッパ・梅乃ハッパ、 シンデレラエクスプレス、 ビックリッカサ、チキチキジョニー、 地獄の道伝子 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円
新開地・ よしもと演芸 Night 28 (土) 銀シャリ、モンスターエンジン、 ヒューマン中村、プリマ旦那、 トット、マルセイユ、フースーヤ 開演 19:00 / 開場 18:30 前売 3,000円 / 当日 3,500円	レビュー・ジャパネスク遊園・笑園・ 真夏の夜の ノスタルジアライブ 29 (日) 白川 亜樹、五月 梨世 美苑えりか、穂穂えりな 総合プロデュース・草葉達也 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	日本舞踊の今昔 30 (月) 若柳 吉金吾 花柳 芳圭次 花柳 五三輔 桂 吉坊 ほか 開演 18:30 / 開場 18:00 前売 3,000円 / 当日 3,500円	桂雀三郎 with まんぷくブラザーズ ドリームコンサート 31 (火) 桂雀三郎 まんぷくブラザーズ リビート山中、 ボルケーノ赤木、ミンチスキー東 開演 19:00 / 開場 18:30 前売 3,000円 / 当日 3,500円

※8月の夜席公演は公式ホームページでご覧いただけます。昼席、夜席ともに公演の2ヶ月前の同日に発売開始となります。

神戸新聞地

ぐるぐる歩きまわっぶ



神戸新聞地・喜楽館によろこせ。

本格派の演芸場が42年ぶりに神戸に復活しました。星は上方落語の定席、夜と朝は多彩な公演を楽しんでいただけます。周辺には、ぐるぐる回遊できる魅力的なスポットがあちこちに。新聞地商店街には、美味しいお店、大衆劇場や映画館、ライブハウス、お隣の湊川新鮮市場は西日本最大の市場で活気にあふれています。大楠公ゆかりの湊川神社やビリケンさん、兵庫大仏など歴史的ロマンも！ぜひ、尋ねてみてください！

最新の公演情報や新聞地のイベント情報
美味しいお店の情報などをお届けします。

LINE@ LINEアプリの「友だち追加」から
@shinkaichi_fan 「D検索」または「QRコード」で登録

#shinkaichi_news Twitter【新聞地ニュース】もフォローしよう！
発行 新聞地まちづくりNPO (2018年7月版)

落語豆知識

落語のはじまり
諸説あり、江戸時代初期の安楽庵策伝という僧侶が説教を面白く聞かせるために始めたとする説が知られています。明治以後に「落語」という呼び方が定着しました。

落語家のはじまり
元禄頃に現れた、大坂の米澤彦八、京都の露の五郎兵衛、江戸の鹿野武左衛門が、職業落語家の始まりとされています。その約100年後に、桂、笑福亭、林家などを名乗る落語家が登場し、それ以後、師弟関係で結ばれ、芸が受け継がれてきました。

高座 落語の舞台を高座と呼びます。
めくり 演者の名前を記した名ピラのことです。

お茶子 小机(見台)と衝立(隠し)を置き、小さな拍子木(小拍子)で見台を叩きながら落語を演じることがあります。派手な賑やかな上方落語の特徴の一つです。

お茶子 座布団やめくりを返し、高座を整える女性のことです。若手落語家が行うこともあります。

公演 まくら 本題に入る前の軽いおしゃべりのこと。オチ(落語)「サゲ」とも言います。最後の締めくくりに使われます。

出囃子 多くの落語家には自分専用の出囃子があり、出囃子を聞くと誰が出てくるかわかります。またトツツハツターは「一段ずつ芸が向上するように」と「石段」という曲が使われます。

衣装と小道具 衣装は着物、小道具は扇子と手ぬぐいだけ。落語家が誕生した江戸時代の服装と持った物そのままです。手ぬぐいは財布や煙草入れ、手紙、本などに、扇子は簪や筆などの短いものから、刀やつり革などの長いものまで、いろいろな道具に見立てて使います。



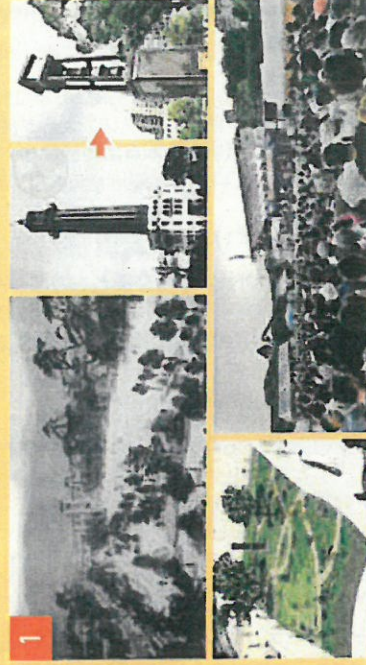
監修 前田憲司氏(芸能史研究家)

図／昭和10年頃神戸・湊川新聞地復元図 制作／三船清氏

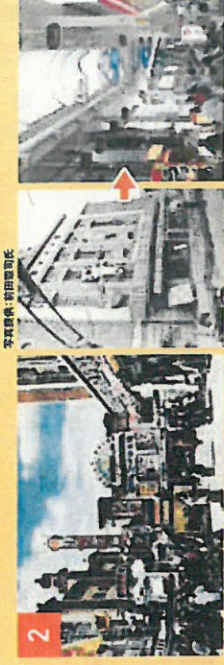


新聞地の今と昔を見比べながら 散策してみよう！

「東の浅草、西の新聞地」と称されたこの街には、今も劇場・映画館など大衆文化が根付いています。



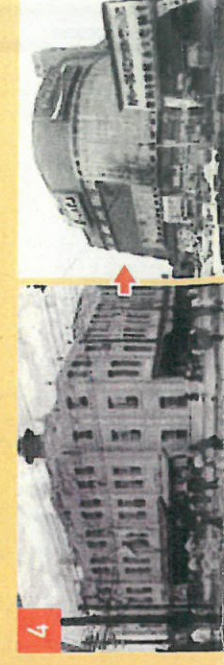
湊川公園は1911年開園。神戸タワーを顕彰する「カリヨンの鐘」周辺は美しく整備され、春には西日本最大級の新聞地音楽祭で賑わう。



演芸場であった神戸松竹座(右)は1976年閉館、約40年の歳月を経て、神戸新聞地・喜楽館として生まれ変わる。毎日「落語」を愉しめる街に！



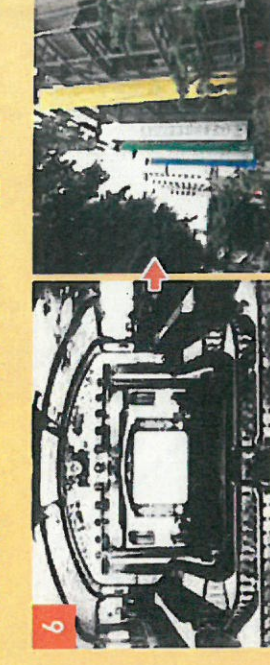
神戸新聞地・喜楽館周辺は飲食・娯楽施設が軒を連ねる。震災後、かつての横丁の風情取り戻そうと石畳が敷かれ、「聚楽横丁」と名付けられた。



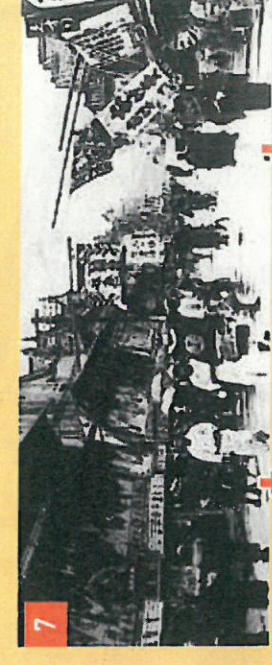
「ええとこ、ええとこ」と地元で愛された聚楽館。現在はボウリング場。



帝国館の旗の裏に神戸デパートがあり、今はポートピア神戸新聞地が立地。このあたりをチャールズ・チャップリンが闊歩した。



東洋一といわれた錦座の跡には、現代アートの拠点として、さまざまな実験・体験・発信がくり返される神戸アートビレージングセンターに。



芝居小屋が並んでいたエリアは、震災を経て、映画館や大衆劇場として復活。



渡辺節の設計によるモダンデザインの新神戸瓦葺ビルがあった。前の交差点は西国街道、新聞地本通りにシンボル像のビッグマン。

1 湊川公園と神戸タワー跡

1924(大正13)年、神戸タワーが建設。浅草の浅草園、新世界の通天閣(初代)とともに日本三大望楼とよばれました。跡地にカリヨン時計塔が建てられています。湊川公園は市民ボランティアによるガーデニングで一年中美しい花をみることが出来ます。5月第2土日には新開地音楽祭が開催されます。

2 神戸新鮮市場

約500店舗がぎっしり。「神戸の台所」と呼ばれ、衣食住がそろった西日本最大級の商店街。神戸の飲食店も仕入れにいくほど新鮮、圧倒的な品揃え。人情味あふれる商いにふれてください!

3 ミナエタウン

音楽スタジオやライブハウスが8つも入った昭和的カオス。お隣のミナエ商店街の単館映画館「パルシネマしんこうえん」は、名作二本立て上映、女性に人気。

4 新開地のグリコサイン

大阪・道頓堀の初代グリコサインは1935(昭和10)年に設置されていますが、それよりも前に新開地にありました。当時の鉄塔だけが残っています。探してみてください。

5 神戸松竹座跡

1929(昭和4)年新築。開業当時は洋画上映の他に松竹楽劇部(現OSK日本歌劇団)のレビューも。その後、漫才、落語、音曲、喜劇、漫談、浪曲などを公演。閉館後、演芸文化の灯は兵庫区民会館が受け継ぎ、神戸新開地・喜楽館へとつなぐりました。

6 聚楽横丁

喜楽館周辺は風情あふれる横丁街。石畳風の路面で、夜も明るく安心。割烹をはじめ飲食店が集まります。寄席の行き帰りにぜひ!

7 聚楽館跡

「ええとこ、ええとこ、しゅうらっかん」でお馴染み。1913(大正2)年に建設。「西の帝劇」と呼ばれました。その後、映画の常設館となり、スケートリンクも増設。現在のボウリング場外観は、初代の聚楽館がモチーフ。

8 湊川神社・日本最古のオリーブ

明治政府の殖産興業政策のもと前田正名が1879年にオリーブの樹を輸入、山本通の神戸阿利根園で栽培されたと伝わる。当時のオリーブが境内に残っています。

9 湊川神社・拝殿の荘厳豪華な天井奉納画と宝物殿

神戸大空襲で全焼した社殿再建の際、壁画と天井画を日本画家に依頼し163点が奉納されました。外拝殿中央の「大青龍」は福田眉仙、その右4枚の版画「運命」は棟方志功の作品。「宝物殿」では、横山大観や富岡鉄斎による大楠公画などを拝観できます。

10 湊川神社・大楠公(楠正成)殉節の地

水戸光圀自筆「嗚呼忠臣楠公の墓」碑(国指定重要文化財史跡)

足利尊氏と戦い自害した大楠公の墓所は碑石もなく荒れていましたが徳川光圀公が墓碑を創建、幕末には吉田松陰や坂本龍馬をはじめ勤王の志士が大楠公を慕って訪れています。

湊川新鮮市場と湊川公園コース

湊川隧道



0 100 200 500m



11 湊川の土手の名残と新開地商店街

決壊を繰り返す湊川を1901(明治34)年に付け替え、その跡地をスタート地点に日本最初のマラソン大会が開催。やがて劇場が次々と建設されて新開地は日本有数の歓楽街に発展。商店街の両側が坂や階段になっているのは湊川が天井川であった名残です。

12 チャップリン、淀川長治さんゆかりのまち

映画評論家・淀川長治さんは子どもの頃から新開地で映画をみて育ちました。1936(昭和11)年、チャップリンが2度目に来日した際には新開地を訪れ、商店街を歩いて通りました。

13 ビッグマンと西国街道

商店街の浜側の玄関口に2002(平成14)年に誕生。青と赤の2対のゲートと黄色のゲートは、ハイカラ神戸のシンボルに。ビッグマンの前は旧西国街道、畿内と西国を結ぶ主要な街道で、参勤交代に使われていました。

14 新開地劇場

1946(昭和21)年、実演劇場として誕生、映画スターの巡業先として長谷川一夫、山田五十鈴、大衆演劇界からは梅沢昇、浅香光代、歌手では美空ひばり、江利チエミといった大スターがステージを飾りました。現在は大衆演劇専門館に。

15 神戸アートビレッジセンター(KAVC)&新開地土曜マルシェ

新開地を、アートの力を通じて活気あふれる街にしたいと1996年(平成8)年オープン。演劇・ダンス・美術・映像・音楽などのアーティストの実験的な試みが行われています。毎月第2土曜日には周辺で新開地土曜マルシェも!

16 みなと八幡神社

元西国街道の兵庫の町への東入口、徳川時代には番所があり要衝でした。境内にある迷子の「しるべ石」はかつて堀外にあり、昔は子の特徴などを紙に書いて「たづねる方」の上のくぼみに張り付け、子の帰りを祈りました。

17 日本最古のビリケンさん

松尾稲荷神社のビリケンさんは、大正時代の中ごろに奉納された和洋折衷のスタイル。鎮守稲荷神社のビリケンさんは昭和5年頃に作られたものと考えられます。

18 能福寺と兵庫大仏

805年(延暦24年)に能福護国密寺として創建。平家一門の祈願寺に定められ、平清盛公の墓所として平相国廟が再建されました。兵庫大仏は日本三大仏のひとつ。大仏台座内の十一面観音像は平安時代前期作で国指定重要文化財。

19 古代大輪田泊の石椁など兵庫運河周辺

日宋貿易で栄えた港・大和の泊の遺構や、100年以上の歴史を持つ日本最大の運河の周辺には、赤煉瓦の近代建築や中央卸売市場があります。

20 漫画家の水木しげるゆかりの水木荘跡

水木しげる氏は復員後に滞在したアパートを買い取り、「水木荘」と名付けました。その後、紙芝居作家、漫画家となりましたが、当時勤めた紙芝居の貸元が本名(武良茂)ではなく、「水木さん」と呼んだことから、そのままペンネームに。アパートがあった隣には水木さんが通った銭湯が今も営業。

